

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

# あしすとはあく

第71号

2022年9月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター  
(愛称：アシストパーク郡山)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特集

## 食品ロス削減と持続可能な 循環型のまちづくり

～食品ロス削減と市民活動の循環～  
参加と協力で未来の目標を達成



JA全農福島  
JA農産物直売所「愛情館」

(郡山市)



NPO法人 真善美

写真提供：NPO 法人真善美

(郡山市)



NPO 紹介 NPO 法人こどもと農がつながる給食だんだん  
(郡山市)

写真提供：NPO 法人こどもと農がつながる給食だんだん



郡山市役所環境部3R 推進課

(郡山市)

協同組合 JA 農産物直売所「愛情館」



郡山市

JA全農福島 園芸部 JA農産物直売所「愛情館」  
職員 菊池 みなみさん

取り組みについて教enskください

菊池さん 「愛情館」では、農産物を生産していただく皆さんの作った青果物（野菜・果物）を毎日新鮮な状態で購入していただけます。しかし、売れ残りが発生した場合の多くが、食品ロスとなってしまう現状がありました。

その問題を解決するために、今年の5月から、NTTドコモ（現在は、NTTコミュニケーションズ）さんの提供するスマホアプリ「ecobuy」を東北ではじめて導入しました。

夕方6時以降に、お客様が野菜・果物を購入いただき、スマホのアプリのカメラでレシートを撮影いただくと、購入点数に応じたecobuyポイントが貯まります。その貯めたポイント



は、様々なポイントに交換して買い物に利用できる仕組みです。アプリを導入することで、お客様も気軽に食品ロス削減のSDGs活動に参加出来ます。また、生産者の皆さんには、売り上げ向上に役立つとともに、廃棄が減り、これも食品ロス削減につながるものです。

スマホアプリ「ecobuy」の導入を始めた際に、お客様に向けて、アプリの使い方説明を行いました。利用いただくお客様にも、気軽にSDGs活動が出来ることやお得なお買い物につながり好評を頂いています。

愛情館の店内では、引き続きPOPやポスターでご案内し、食品ロス削減を進めて参ります。

JA全農愛情館 公式 Web

ecobuy アプリ



郡山市

郡山市環境部3R 推進課3R 推進係 職員 石川 剛久さん

自治体 郡山市環境部3R 推進課

石川さん 郡山市は、一人一日あたりのごみ排出量が、1190グラム（2020年度）であり、全国の中核都市の中でも多い都市となっています。

ごみの排出量削減に向け、郡山市一般廃棄物処理基本計画を作成し、2027年度までにごみ排出量を910グラム以下にすることを目標に掲げ、SDGsのゴール12「つくる責任つかう責任」のターゲット3の実現を目指しています。

今年の7月7日に家庭系食品ロスの調査を実施しました。調査結果では、一人一日あたりの家庭系食品ロスの発生量は、36.4グラムと推計され、全国平均の53.5グラム（2019年度）と比較し、少ない数字となりました。

現在、食品ロス削減に向け様々な取り組みを進めています。

取り組みの一つとして、郡山市と福島民友新聞社がタッグを組み、3RFエスティブルを開催し、市民の皆様へ、食品ロス削減をテーマにした「生ごみ減量！減るしいレシピ」を実施しています。その応募いただいたレシピを全国の方が利用されている「クックパッド」上の郡山市公式ページにてご紹介しています。

また、市内のコンビニエンスストア等小売店での食品ロス削減を目的に「手前どり」POPを店舗で掲示いただいております。「手前どり」とは、購入後すぐに消費する商品は、消費期限や賞味期限の近いものから選んでいただくことをアピールするものです。

今後も、食品ロス削減に向けて市民の皆様と一緒に、取り組んで参ります。



郡山市公式 Web  
食品ロス実態調査の結果について

クックパッド  
郡山市公式 Web



Ⓢ NPO法人真善美 理事長 田中 修司さん

フードバンクについて教えてください

**田中さん** 私たちは、障がいを持つ人たちが働き、自立した生活を営めるように自立訓練・就労継続支援B型事業など様々な取り組みを進めています。

その一つとしてウエルフェアカフェを拠点として、地域の高齢者に向けた配食事業やお弁当の出張販売など、障がいを持つ人たちが働くことができるソーシャルビジネスを展開しています。

新型コロナウイルス感染症拡大が発生する前から、障がい者が取り組める仕事の一つとして捉え、地域共生を目指した子ども食堂の事業に取り組んできました。

子ども食堂を開催するうちに、一生懸命働いても、生活面で課題を抱える家庭の姿が見えてきました。

こうしたことを解決するには、もう少し踏み込んだ福祉型のフードバンクが必要と考え、昨年より、段階的に取り組んできました。

フードバンクを始めた当初は、チラシや広報をご覧になった方々より、様々な問い合わせがあり、「コロナ禍での経済の影響の大きさを再認識すると同時に、数の多さに戸惑いました。どこかでラインを引かねばならないことを認識させられました。」

全国各地には、専門のフードバンク組織がありますが、私たちは、障がい者の皆さんとの地域共生事業として受け入れられる範囲で行う必要があります。

検討を重ね、ひとり親家庭の子どもたちへのフードバンク事業を行う形となりました。

現在は、地域にお住まいのひとり親世帯（総人数66名）の方々に登録していただき、地域の企業の皆様から寄付頂いた食材などを含め、定期的に配布させていただく形で実施しています。



写真提供：NPO法人真善美

(しんぜんび)  
NPO法人真善美  
公式Web



NPO法人紹介コーナー

NPO  
紹介

## NPO法人子どもと農がつながる給食だんだん

**本田さん** 今年の7月25日にNPO法人を設立しました。

私たちは、法人設立前から、任意団体CPPジャパンとして、全国の様々な有機農業の関係者の皆さんや子どもたちの食を考へる地域団体の皆さんとつながりながら、日本の子どもたちへの食育の推進と有機食材の地産地消を後押しするために、学校給食をテーマにして、調理師・栄養士さんなどを対象にした講習会や勉強会を開催するなどの活動に取り組んできました。

学校給食は、日本において、

様々な面で、未来を担う子どもたちの成長に欠かせない大切なシステムです。また、義務教育のあいだ、ほぼすべての子どもたちが給食を食べます。その給食に、安心して食べられる有機食材と食育

を提供できるようにすることが私たちの活動です。

**松谷さん** 2018年にフランスで成立したエガリム法は、「学校給食の50%は、持続可能で高品質な食品であること、全体の20%は、有機食材にすること」が義務化され、有機食材の流通を広げていくものです。

私たちのパートナーでもあるCPPフランスは、学校給食の現場で、子どもたちへの食育を効果的に行うべく、調理員も子どもたちと一緒に食事をとり、有機食材についての知識を伝えながら行うことも案内しています。

**本田さん** 昨年、農水省は「みどりの食料システム戦略」で、2050年までに日本の耕作面積の25%を有機農業にするとという大きな目標を掲げました。千葉県いすみ市をはじめ、全国の自治体で少しずつ学校給食への導入が進んでいます。

私たちは、活動を通じて、地域の高品質な食を子どもにつなぐことが目標です。食習慣、環境、農業、健康とコミュニティづくりを進めていきます。



Ⓢ NPO法人子どもと農がつながる給食だんだん 代表理事 本田 恵久さん

Ⓢ 理事 松谷 織恵さん



写真提供：NPO法人子どもと農がつながる給食だんだん



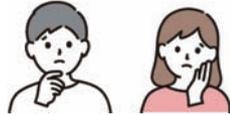
写真提供：NPO法人子どもと農がつながる給食だんだん

公式 Web



サポートセンター相談コーナー

# ズバツと解決!



## 相談事例

実施するイベントや勉強会への参加者をもっと集めたいNPO法人のご相談

- ①チラシ作成や広報手段を案内し一緒に作成します。
- ②基盤整備が可能な活動資金の調達方法の案内もいたします。
- ③時代に合わせたプログラム作成のサポートをします。

その結果、**次回のイベントに向けて、理事会（役員会）で話し合いプログラムを見直し、チラシも新しく作る**ことが出来ました。  
アシストパーク郡山は、**事業の見直しのサポート**も行います!

## 町内会への出前講座

町内会の皆さまへ、皆様からのご要望に応じて、ご希望の日にイベントを開催する講座も実施

**こんな出前講座が出来ます!**

- ① 皆さんの希望を伺って!
- ② ビックリのお出前講座を作ります!

郡山市市民活動サポートセンター  
〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号  
電話/FAX 024-924-3352  
Eメール ap@utsukushima-npo.jp

## 町内会を応援

町内会の皆さんの活動を応援するために「出前講座」をいたします!

LINE 講座も! お任せください!

問 郡山市市民活動サポートセンター



## NPO法人を設立しませんか!

設立相談について、随時 受付中!

- ◆NPO法人の「信用」は、市民に向けて出来るだけ情報公開をすることで得ることが出来ます。
  - ◆でも、ご心配なく、NPO法における情報公開の方法について詳しく解説します。
- こんなお手伝いをしています。
- ①毎年提出する事業報告書の作成と提出についてご案内します。
  - ②ホームページやNPO法人ポータルサイトのインターネットで情報公開の方法を案内し、お手伝いします。
  - ③NPO法人制度や設立方法の説明  
※出前講座も実施しています。

**発行 郡山市市民活動サポートセンター**  
(愛称: アシストパーク郡山)

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始  
電話/FAX 024-924-3352  
メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp  
ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/  
住所 〒963-8601  
福島県郡山市朝日一丁目23番7号  
郡山市役所 西庁舎3階  
運営委託 郡山市市民部市民・NPO活動推進課  
運営受託 NPO法人うつくしまNPOネットワーク

相談無料/予約制 ●多文化共生社会の実現  
●SDGsの推進  
●クラウドファンディング活用

# 専門相談会



相談テーマ: 多文化共生社会の実現

専門相談員 9/27 ㊟  
**三田眞理子** 10/25 ㊟

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ: SDGsの推進

専門相談員 9/28 ㊟  
**鷲谷 恭子** 10/26 ㊟

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ: クラウドファンディングの活用

専門相談員 9/29 ㊟  
**中瀬 亮兵** 10/27 ㊟

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



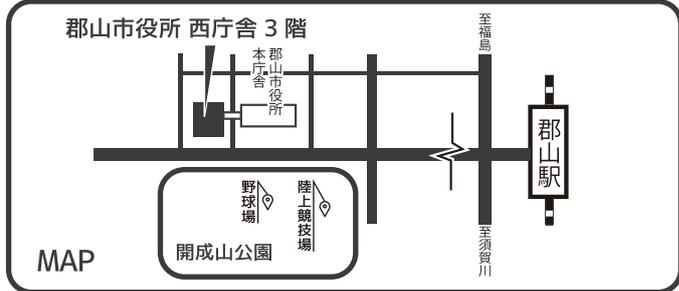
## 登録団体の皆様へ

会計のお悩みは、サポートセンターまで!!



会計相談のご案内ページ

サポートセンターでは、登録団体の皆様の会計のサポートを実施しています。NPO法人の場合は、NPO会計基準に則った会計処理ソフトの使用法をご案内しています。町内会の皆様には、エクセルを使用した会計ソフトをご案内していますので、サポートセンターまでお気軽にお問合せください。



Web Twitter Facebook